

平成二十七年五月二十一日提出
質問 第二三六号

オスプレイの安全性に関する質問主意書

提出者 鈴木貴子

オスプレイの安全性に関する質問主意書

米海兵隊の新型輸送機MV22オスプレイが本年五月十七日、ハワイ州・オアフ島で訓練中に着陸に失敗し、乗組員二人が死亡した。事故をおこしたMV22と同機種が米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）に配備され、陸上自衛隊は佐賀空港に配備を検討している。また、米国防総省のウォレン報道部長は十八日、記者団に対して、米空軍のCV22の横田基地（東京都福生市）への配備計画に変更はないとしたりうえで、普天間飛行場に配備されているMV22についても「飛行計画を変える考えはない」と述べている旨の報道がなされている。

右を踏まえ、質問する。

一 オスプレイの事故は、過去にも度々起こっており、今回起きた事故の原因究明がはっきりするまでは、日本で配備されているオスプレイの運用をやめるべきと考えるが政府の見解如何。

二 ウォレン米国防総省報道部長の「現段階で、日本での運用の計画を変更する考えはない。」とする旨の発言（以下、「ウォレン発言」とする。）は、安全性が確認されていないにも関わらずされた発言であり、「ウォレン発言」は日本を無視した、さらには日本を軽視した発言であると考える。「ウォレン発

言」に対し、日本政府として抗議し、運用の停止を求めるべきでないか。政府の見解如何。

三 オスプレイは、試作機の段階から事故を起こし、七人亡くなっている。今回の事故で運用から、事故件数は七回になり、三十人も亡くなっている。今後オスプレイの導入をやめるべきと考えるが政府の考え如何。

右質問する。